# 若中だより

５月号

【《校訓》創造・協調・自律】

北九州市立若松中学校
校　長　大庭　崇彦

## 授業参観、修学旅行・進路説明会を終えて

コロナウイルス感染症が５類に移行され、マスクの着用は個人の判断にとなりましたが、学校においては引き続き、体調の把握や手指消毒など感染対策を行っていきたいと思います。また、段々と気温も上がり、「熱中症」も心配されます。熱中症の対応も考えながら、生徒達にはマスクの着用について声かけを行っていきたいと思います。

さて、４月２２日（土）に行われた授業参観、修学旅行・進路説明会にはお忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。保護者の皆様の熱い視線に、生徒たちも少し緊張の面持ちではありましたが、日頃以上に一生懸命に頑張っている姿を見ることができたように思います。３年生は、一番楽しみにしている修学旅行に向けてと９か月後に待っている進路決定について、より真剣な眼差しで参加していたように思います。

コロナウイルスは、完全に終息したわけではありませんので、今後とも感染対策や安全面に留意しながら、日々の授業や学校行事等を行っていきたいと思います。ご家庭におかれましても、ご理解・ご協力をお願いいたします。**（学校 HP に「５月８日～の生徒の登校判断」を載せています。）**

## 部活動が本格的に始まりました！！

４月２８日（金）の部活動発足式を経て、１年生も含めた部活動が本格的に始まりました。放課後や土日の部活動の時間を一番楽しみにしている人も多いようで、帰りの学級活動の「さようなら」を言った後、全力疾走で体育館等に向かっていく姿を見かけます。

初めて買ってもらったシューズやジャージ、大会ごとに車出しや応援に駆けつけてくれる保護者、一緒に厳しい練習を乗り越えたり応援してくれたりするチームメイトの存在、時間外に指導を行ってくれる先生や外部講師の方等、部活動はたくさんの方に支えられて実施できています。このような方々への、感謝の気持ちを忘れないでください。シード決めや市民体育祭など、大会が始まっている部活動もあります。どの部活動も、チーム一丸となり最高の大会に臨めるよう、練習などに頑張ってほしいものです。

【生徒指導部より】

新しいクラスになって、一ヵ月が過ぎました。どのクラスも落ち着いて生活できているように思います。この時期には人のことをもっと知りたいと思う探求心や仲間意識・所属意識から、人間関係の摩擦が生まれるのも特徴です。人は誰しも、本音で話ができる友達を求めるものです。チョットずつ、距離を縮めていくことをお勧めします。距離が縮まり、濃厚な間柄になることでトラブルになることもあります。「自分がして欲しくないことは相手に絶対にしない」ことは大原則です。ただ、それぞれの価値観の違いもあります。相手の価値観も認めつつ、自分らしさを上手に伝え、人間関係を構築してほしいと思います。学校では、人との付き合い方や集団におけるマナーやルールを守ることもしっかり学んで成長して欲しいと思います。何か心配なことがあれば、担任・学校にご相談ください。